



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第37号 2016.4.

「冬の自然写真の撮り方」開催しました。

前年度の日高山脈ネイチャーセミナー 2015、最終の講座でした。

3月5日に、「冬の自然観察と、その自然をうまく記録に残しましょう」というテーマの下、開催しました。

内容としては、スノーシューをはいて冬の自然観察を行ない、それを写真に収めるために、撮り方やシチュエーションごとのカメラの操作方法などを、講師の指導のもと学習します。

今回も、昨年度とは別の場所ですが、やはり野鳥の影の濃い、山林の中へ踏み入りました。気温も高めでしたので、雪も重く、スノーシューを履いていても歩きづらかったと思いますが、さまざまな野鳥やアニマルトラック、野鳥が襲われた痕跡を見たり、雪の中での気温の違い、樹木の年齢の推察、冬芽の観察などを行なったりでき、冬の森林の自然を十分に十分に体験でき、それらを収める写真の撮り方も学ぶことができました。あっという間の半日でした。

本年度も、ネイチャーセミナーをはじめ、日高山脈博物館自然体験事業を実施予定です。日程などが決まりましたら、広報や当館のホームページなどでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



ちょっとおもしろい岩石をいただきました。

紅色に縁取られた紫色の目玉がいっぱい、おもしろい色合いと模様です。

先日、見た目のおもしろい岩石をいただきました。黄土色と紫色と血のような黒みがかかった赤色の層になった石が目玉模様を呈し、目玉の間にも小さな石がびっしりです。これは何の岩石か？初見の肉眼観察では、変質したハイアロクラスタイト（海底で噴火してできた岩石）だと思われます。日高周辺では、ハイアロクラスタイトは緑色に変質しているものが多く、日高総合支所の向いに鎮座している立派なハイアロクラスタイトも、きれいな緑色です。このような色になるのは、おそらく、変質するときの条件が異なっていた、変質する前の岩石の成分が異なっていたなど、いくつか原因が考えられます。岩石薄片も作成しましたので、興味のある方は、学芸員にお申出ください。



日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご活用下さい。

⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/site/hmc/>) の新着情報からどうぞ。